

食道 m3・sm1 癌の診断と遠隔成績の月号の特集は、あくまでも治療法に極端な侵襲の差のある食道癌の治療の適応拡大(特に EMR)を企図し、更に適応拡大ができない症例はどのような形態かを明らかにする点である。粘膜癌の m1・m2 までの浅い癌の深達度診断は精密な内視鏡動的観察・色素内視鏡の駆使で専門施設の報告では 97%以上、細径高周波超音波プローブによる sm2 以深の症例では 95%以上の正診率が得られる時代になった。問題はこの中間にある m3・sm1 の症例である。多くの施設ですらせいぜい 20 例以内の検討である。そこで今回、小山氏により 21 施設から m3: 489 例, sm1: 260 例, 合計 749 例の全国集計がまとめられた。このうち初回治療が食道切除(おそらくリンパ節郭清術が施行されていると理解)が 56%, EMR が 30%の頻度であった。以上の背景から m3 症例では 9.3%, sm1 症例で 19.6%のリンパ節転移が確認された。この深達度症例群の他病死を除いた原病死については、食道切除・食道抜去(リンパ節転移の有無は評価はで

きない)・EMR 症例の間に 5 年生存率に差がないとの結果が報告された。外科手術と EMR 症例に当然、治療法選択にバイアスが存在すると思われるが、これだけの多数の症例での検討結果は大きく評価すべき点であろう。

さて主題論文査読からの印象として、深達度については検査方法別の特徴が正しく専門医から世界に発信できる成果および画像が提示されている。現在のところ m3⇔sm1 への自然史は判明しておらず、実際にとらえられないのが現状ではある。主題症例の報告を読み、本分野で行うべき課題として、まず実際の症例の反省点からの見直し、個々の症例からの実際的な細かい再検討が必要であろう。新しい研究課題として m3・sm1 のそれぞれの浸潤の二次元的評価のみでなく三次元的な体積の診断も提示され、今後の方向付けが示された。

世界に絶対に負けることが許されない、この領域の最先端の基本は形態診断学にあることを若い読者は絶対に忘れないでほしい。

胃と腸

2 月号 (第 37 巻・第 2 号) 予 告

発売予定 2 月 25 日
定 価 (本体 2,300 円+税)

主題/4 型大腸癌とその鑑別診断

序 説	4 型大腸癌とその鑑別診断	九州大学大学院・病態機能内科学	飯 田 三 雄
主 題	4 型大腸癌の病理学的特徴—浸潤形式とその組織型について	国立がんセンター中央病院・臨床検査部病理	二村 聡・他
	4 型大腸癌の臨床病理学的特徴と X 線・内視鏡診断—浸潤様式との関係を中心に	川崎医科大学・消化器内科 II	平川 克哉・他
	4 型大腸癌と炎症性腸疾患の鑑別診断	北里大学東病院・消化器内科	小林 清典・他
	4 型大腸癌と鑑別を要する疾患—転移性大腸癌との鑑別	名古屋市立大学・第 1 内科	妹尾 恭司・他
	4 型大腸癌と鑑別を要する疾患—腸間膜脂肪織炎との X 線所見上の鑑別	昭和大学附属豊洲病院・消化器科	幸田 隆彦・他
	4 型大腸癌と鑑別を要する疾患—放射線性腸炎との鑑別	国立がんセンター中央病院・放射線診断部	太田 裕之・他
主題症例	乳癌が大腸へ転移した 1 例	藤田保健衛生大学第二病院・内科	服部 信幸・他
	下部直腸にびまん型浸潤を来した胃原発転移性大腸癌の 1 例	九州大学・臨床放射線科学	平賀 聖久・他
	下部直腸にびまん性狭窄を来した前立腺癌の 1 例	新潟大学大学院・第 3 内科	鈴木 裕・他

胃 と 腸 (第 37 巻 第 1 号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802/3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

2002 年 1 月 25 日発行 (毎月 25 日発行)

1 部定価 (本体 2,300 円+税) (配送料 116 円)

2002 年年ぎめ予約購読料 33,810 円

(増刊号 5,500 円を含む 13 冊) (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2002. Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

• JCLIS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当)阿野・渡辺・永安・小松原